武　一　中

令和４年４月８日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ４－１号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

チャレンジ

校　長　　中嶋　建一郎

４月７日の入学式では 104 名の呼名の後に新入生に向けて話した内容です。

入学に当たって、今日は皆さんに「チャレンジする」ことについて話をしようと思います。チャレンジには、「挑戦する」ということや「困難な問題や未経験のことなどに取り組むこと」という意味があります。もちろん、中学校３年間の中では、「困難な問題」にもチャレンジしてほしいと思いますが、今、私が皆さんにチャレンジしてほしいと思っていることは、もっと簡単なことです。例えば、今日、入学式の後にできることだとしたら、同じクラスになった初めて会ったクラスメートに自分の名前を言って「よろしく」と言ってみることです。どうでしょうか、できますか。それに加えて「入学式緊張したね」などの話も出来たら立派です。友達ができて、快適な中学校生活がスタートします。

中学校の生活は、小学校とは違うことが多いので、毎日が未経験のことに取り組むことになり、チャレンジの連続かもしれません。そんな中で、もう一つのチャレンジは、これまでの自分だったら、やらなかったかもしれないことに挑戦してみてほしいのです。ちょっと勇気がいりますよね。「どうしようかな」「やっぱり、やめとこうかな」と思ってしまうのは、「失敗したら、やだな、はずかしいな」という考えが浮かぶからかもしれません。でも、失敗はして当たり前です。失敗から皆さんは多くのことを学び、成長します。チャレンジするから失敗ができて、そして成長できる。そんな考えを持ってほしいと思います。こんな話をするのは、私も小中学生の時、チャレンジできず、後で考えると「なんでやらなかったのだろう」と思うことがあったからです。失敗を恐れていました。ですから、一歩踏み出せない皆さんの気持ちはよくわかります。私は「失敗して当たり前、よくチャレンジしたね」と応援したいと思っています。皆さんが、この中学校生活の中で、どれくらい、どんなことにチャレンジしていくのか楽しみにしています。「チャレンジ」の話、記憶に留めておいてください。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

４月６日の着任式・始業式では新２・３年生は今年度から使用する男女混合名簿順での整列でした。着任された先生からは整列や着席の姿をほめていただきました。

始業式では、「初心忘るべからず」について話しました。意味は、「習い始めたころの、謙虚なはりつめた気持ちを常に失ってはならない。また、最初に思いたった強い思いを忘れてはならない」です。新学期が始まり、「がんばるぞ」という気持ちがわいてきている今の思いを時々思い出してほしいという内容です。一中４年目の私自身に対しての言葉でもあります。

一年間、よろしくお願いします。